

友が島ごみ調査と観光 2026年4月17日および19日 澤村

加太駅⇒加太港⇒棧橋⇒南垂水海岸⇒第3砲台跡⇒タカノス山⇒棧橋 ⇒ 加太港⇒加太駅

10:00	10:20	11:20	12:00	14:50	15:10	16:00	16:50	17:20
	11:00		14:00			16:30		

近畿ブロック自然保護委員会主催で4月17日(金)および19日(日)の両日ともフェリーが無事出航し、17日14人、19日11人の参加。

回収ごみ内訳は、両日合計でペットボトル:51kg、プラゴミ:284kg、缶ビン:41kg、不燃ごみ・漁具:282kg(重量測定不可の網など約100kgは除く)などで総重量:660kgと予想だにしない超超過達成、しかもわずか1時間で。

ごみ重量には驚きですが、ブイの多いこと、両日で30個ぐらいいはあったはず、漁網などは200~300kg。WWF報告では、海のごみ重量と魚の総重量はほぼ同じで漁具が多いとのこと。WWF報告を調査により証明するかのごとく状況は同じなようです。今思えばよくくじけずがんばったなど、大きな流木下の漁網はほとんど諦めていましたが仲間の力で回収に成功。また、重量には表れないが発泡スチロールも多かった。流木の奥深くに潜み回収できないものも多かった。ペットボトル:51kgは、1個20gとすれば、2550個分、お一人100個を回収ことになる。

結局、去年10月と今月の2回で南垂水海岸のごみは8割近くを回収したのでは思われる。

そのゴミ総重量:720+100kgと判断する。総括は今後の会議で深めることとする。

ごみ調査の成果に気をよくして、お楽しみの観光に出発。まずは第3砲台跡へ、レンガ造りの要塞でかなり大きい。地下室は17インチ砲弾造りの場所だったよう、2門×4=8門あった。明治の時代に!!と感心した。

お次は、友が島の最高峰:タカノス山、1等三角点で1mほどの盛り土の上にあった。近くに展望台があり見晴らし抜群なので親子連れ観光客でにぎわっていた。灯台横の子午線広場にはモニュメントが設置され、「この真北に明石の時計台がある」と確認しました。棧橋近くのカフェーに戻ると「台湾リス」3匹が出迎えてくれた。最近「台湾しか」が岬町に上陸したらしく、ニホンジカとの交配を大変心配しているとのこと。

観光目的で「台湾」を導入したらしいが、何が起ころやら心配事がまた増えそうである。

友が島のゴミを少しでも減らすため、6月7日のクリーンハイクは山を責める。がんばりましょう。